

令和5年度高岡市男女平等推進市民委員会会議録（要旨）

【日 時】 令和5年9月28日（木） 午後2時～午後3時30分
【場 所】 高岡市市役所8階801会議室
【出席者】 <ul style="list-style-type: none">・委員 14人（野口会長、梅島委員、老子委員、大平委員、河合委員、川淵委員、杉山委員、中村委員、沙魚川委員、林（夏）委員、林（美）委員、廣羽委員、堀委員、矢竹副会長）・高岡市 6人（角田市長、二塚生活環境文化部長、竹内男女平等・共同参画課長、寺口男女平等推進センター所長、事務局2名）
【内 容】 <ol style="list-style-type: none">1 開 会2 市長あいさつ<ul style="list-style-type: none">・男女が平等であり共に支え合うことを念頭に、市政の推進に努めているところ。・新たな取り組みとして女性人材バンクをスタートした。1時間でも働きたいという希望に応えるため。まだまだ始めたばかりで、様々なご意見をいただければ幸い。・男女平等・共同参画の取り組みを市民、企業、各種団体へ広げていくため、委員の皆様方のお力添えをいただきながら着実に進めてまいる。3 委員紹介4 会長あいさつ<ul style="list-style-type: none">・市民の方から意見をいただいた。この委員会で、活発な意見を望みたいという叱咤激励をいただいている。このことを踏まえて皆様にはご議論いただきたい。5 議事<ul style="list-style-type: none">◎ 会長<ul style="list-style-type: none">・初めに、目標とする指標の推進状況、高岡市男女平等推進プランの取り組み、高岡市DV対策基本計画の取り組みを事務局より一括してご説明いただきたい。● 事務局<ul style="list-style-type: none">・男女平等推進プランの取組状況を、資料1、2により説明・DV対策基本計画の取組状況を、資料3により説明 <p>意見交換</p> <ul style="list-style-type: none">○ 委員<ul style="list-style-type: none">・主要な事業33に記載されている女性の就業に関する「女性人材バンク」について、この事業は、出産等で離職した後にフルタイムで再就職したい人は対象にならないのか。

- ・ 主要な事業 1 に記載されている市の審議会等委員候補者の情報提供に関する「女性人材バンク」と、主要な事業 33 の就業に関する「女性人材バンク」は異なるのか。
- ・ 就業に関する「女性人材バンク」について、登録者数やマッチング数を成果指標に追加してはどうか。

● 事務局

- ・ 就業に関する「女性人材バンク」は、育児・介護等で時間が限られる中で、働きたい・スキルを活かしたいと希望する方を対象としている。フルタイムで働きたい方にはハローワークがあり、すみ分けをしている。
- ・ 審議会等委員候補の「女性人材バンク」と就業に関する「女性人材バンク」は異なる。審議会等委員の人材情報は、これまでも、審議会等の委員経験がある方などの情報を収集することで、委員候補としてきた。今後は、就業に関する「女性人材バンク」に登録された方で、専門のスキルや能力をお持ちの方がおられたら、審議会等委員の人材リストに加えることも検討したい。
- ・ 就業に関する「女性人材バンク」は今年度スタートしたところで、まずは、どれだけのニーズがあるか掴んでいくことになる。また、就業は本人と事業所が合意して成り立つものなので、目標値の設定は難しいところがある。

○ 委員

- ・ 事務局から昨年度の実績の説明があったが、現プランの開始から 1 年経過した中での総括を聞きたい。
- ・ 男性・性的少数者の相談体制の整備、今後の在り方を聞きたい。
- ・ 昨年の議事録では、次回から、部会を開催して、委員からの意見を聞いたうえで、委員会を開催するという意見が出たはずだが、それについて、他の委員の意見を聞きたい。

● 事務局

- ・ 総括について、成果指標は 1 年目で達成している指標もあるが、未達成の指標や、5 年間掛けて達成する指標もある。今年度については、女性活躍の推進では、「女性人材バンク」を開設した。また、ワーク・ライフ・バランスの推進では、10 月に開催する男女平等 E X P O 高岡で、家事シェア研究家を招いた講演会を予定している。仕事と家事・育児等の生活との調和の啓発を進め、男女平等・共同参画の浸透を図っていく。プラン掲載の事業に着実に取り組み、成果を出していきたい。
- ・ 男女平等推進センター相談室では、男性からの相談は電話相談を受けている。また、富山県のサンフォルテでは、男性相談員による相談を行っており、相談内容に応じて、そちらを紹介する場合もある。まずは、相談室で相談者の悩みを伺いながら、支援策を考えたり、内容によっては男性や L G B T の相談窓口につないだりして、相談者の気持ちに寄り添いながら支援をしていきたい。

- ◎ 会長
 - ・会議の複数回開催について皆さんの意見を伺いたい。
- 委員
 - ・部会を開いて、全体会を1回行うのでどうか。
- 委員
 - ・意見交換をするには部会は有意義。男女平等推進プランとDV計画を策定する際に立ち上げた専門部会ではなく、新たに部会を設け、自由に意見交換する中で新しい意見が出るのではないか。
- ◎ 会長
 - ・複数回開催に反対はないようなので、全体会議を2回か、部会を行うか決めたい。
- 委員
 - ・もしやるなら部会に賛成。女性登用やDV被害者の支援について見方を変えて意見をいただくことが大切。
 - ・今日は市役所に早く来た。1階では電気が明るくなった、子育てコーナーも変わった。1階に市役所幹部の顔写真とSDG'sに関するポスターがあるが、ジェンダー平等実現を目標に掲げる人は誰もいない。高岡市はジェンダーに関して意識が低いと市民は思う。部会で様々な意見を出すことは良いと思う。
- ◎ 会長
 - ・部会を3つくらいに分けて開催することで進めていきたい。皆さんから事務局に意見をいただいたうえで、開催を進めていきたい。
 - ・その他に意見はないか。
- 委員
 - ・富山県男女共同参画推進員高岡連絡会について、推進員が地域でミニ地区懇談会を開催するが、地域に開催の周知がなされていない。男女平等・共同参画を地域に広げるせっきの場なので、地域への周知を図ってほしい。
 - ・推進員に就任して早い時期に、ミニ地区懇談会を開催している地域もあった。推進員自身が知識を深めてから開催するよう努めてほしい。
 - ・推進員制度の本来の目的は、男女平等・共同参画を理解する人を地域に増やすこと。高岡連絡会では、地域に推進員経験者を増やすため、推進員の任期は最長4年としている。推進員や地域への意識啓発に市からも働きかけてほしい。
- 委員
 - ・本来は推進員が主体で活動することが望ましいが、推進員の中には、地域からお願いされて来ている人もいる。私が高岡連絡会の会長になってから、役員会や地域ごとの推進員を集めた懇談会を開催し、推進員の意識啓発に努めたところ。
- 事務局
 - ・推進員は来年度から新しい任期になる。推進員への男女平等・共同参画の理解促進

を図るとともに、ミニ地区懇談会の開催時期について気を付けていきたい。

○ 委員

- ・市には、推進員活動のサポートをお願いしたい。
- ・推進員のことを知らない人が多い。補足すると、高岡DV被害者自立支援基金「パサパ」は、高岡連絡会のOBが集まって設立した。私達のときは月1回会合し、充実していた。おかげで、パサパの立ち上げにつながった。しかし今はパサパのメンバーすら広げられない。高岡市民の体質に、人権・男女平等に対する意識が低いと実感している。

○ 委員

- ・男女平等推進センターの登録団体について、センターを利用していない団体があるように見受けられる。

● 事務局

- ・登録団体との懇談会や登録更新申請でコンタクトを取る機会がある。その際に、センターの利用を働き掛ける。

○ 委員

- ・子育て・介護支援について、学童保育の指導員が不足している。福岡子育て支援センターでボランティアをしているが、たくさんの子どもに、職員3名で対応しており多忙。子どもが多い場合はSOSの連絡が入る。また、学童保育で人権教室を行ったが、狭い場所に多くの子どもがいる。

○ 委員

- ・学童保育の担当課で、支援員募集のチラシを作っている。募集地区が分かるようになっている。

● 事務局

- ・学童保育の指導員には、いくつかの学童保育から女性人材バンクに指導員募集の登録が来ている。委員の皆様からも団体・知人などに、声掛けをお願いしたい。

○ 委員

- ・市男性職員の育児休業等取得率について、昨年度よりも下がっている理由は。

● 事務局

- ・育休取得については、個人の事情になるため把握は難しい。ただし、取得率はプランの成果指標としているので、目標数値達成も大切であるが、仕事と生活が調和した職場環境づくりを進めるため、取得促進を働き掛けていきたい。

◎ 会長

- ・ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定制度について、事業所が認定を受けるメリットは何か。

● 事務局

- ・認定事業所のメリットについて、市のHPやチラシに掲載する等して推進事業所

のPRに努めている。また、市の建設工事等入札参加資格審査における加点のメリットがある。今後も、市の講座・イベント等で、認定制度の周知や推進事業所の取組事例を紹介するなどして、市内にワーク・ライフ・バランスのすそ野を広げたい。

◎ 会長

- ・ 連合自治会長の女性比率がゼロになっているが、地域での女性登用の取り組みはされているのか。

○ 委員

- ・ 昨今、災害などが多くなる中で、地域での女性の視点が必要。あくまで自主組織なので強制できないが、方法の1つとして、市の自治会や災害の担当課から各組織に、女性役員の登用促進を努力目標として通知を出すことで、各組織が前向きに捉えるかと考える。

○ 委員

- ・ 地域の課題が様々ある中で、自治会活動や生涯学習、防災等様々な用途で地域住民が気楽に利用できる公民館を要望している。令和6年度から、市立公民館の地域交流センター化が進められている。
- ・ 地域では結ネットを活用するにあたり、ITが得意な女性がおられたりする。また、私の地域の自主防災組織でも女性防災士が何人もおり、毎月の会合や自主避難訓練等の取り組みを行っている。今後、小規模多機能自治へつないでいく上で、防災部門など地域づくりの体制に女性の参画はさらに重要になってくる。

◎ 会長

- ・ 自治会の運営には女性の力が必要なので、様々な方に参加いただいていることを確認した。
- ・ DVについて、外国籍の方のDV被害者への対応は。

● 事務局

- ・ 外国籍の方の相談は年に数件ある。相談の対応は、本人が通訳者を連れてくるか、市の多文化共生室から通訳者に来てもらうか、翻訳機器を借りるなどしている。多文化共生室と連携して対応・支援している。

◎ 会長

- ・ 市においては、各委員からのご意見・提案を踏まえて、推進に努めてほしい。
- ・ 委員の皆様には、男女平等・共同参画の推進にご協力をお願いしたい。

6 閉 会

● 事務局

- ・ これで本日の高岡市男女平等推進市民委員会を終了とする。

[以 上]